

会 議 録

会議の名称	第28期東村山市青少年委員の定例会（第16回）				
開催日時	令和2年7月9日（木）午後7時00分～8時00分				
開催場所	市民センター 第2会議室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員） 藤澤功明会長・池田みのり委員・上野美津江委員・鈴木希衣子委員・鈴木史秋委員・高橋真輝委員・高橋豊委員・飛澤誠委員・松岡桂委員・山本由紀子委員・横山大吾委員</p> <p>（市事務局） 社会教育課：朝岡課長・谷係長・田島主任</p> <p>●欠席者： 清水悦子委員・宮崎貴幸副会長・三芳江里奈委員 （委員）</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長 挨拶 2. 社会教育課職員 挨拶 3. 報告事項 4. 協議事項 5. 今後の予定 6. 事務連絡 				
問い合わせ先	教育委員会 教育部 社会教育課 社会教育係 担当者名 谷・田島 電話番号 042-393-5111（内線3515） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<p>※ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、6月に引き続き市民センターへ会場変更し、時間を短縮して実施した。</p> <p>【進行：社会教育課 谷係長】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会長 挨拶 2. 社会教育課長 挨拶 3. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ○第3回青少年問題協議会 日時：6月22日（月） 場所：市民センター 出席者：藤澤会長 					

○令和2年度 東京都青少年委員会連合会 7月代表者会議
 日時：7月6日（月）
 場所：NATULUCK 飯田橋東口駅前店 中会議室
 出席者：藤澤会長

【進行：青少年委員長】

4. 協議事項

第17回「輝け！東村山っ子育成塾」実施に向けての検討事項

○今年度の事業実施について

《要旨》

- ・ 育成塾は実施する（ただし、募集時に企画をしていたプログラムは白紙とする）
 - ・ 実施回数は未定（概ね1～2回程度）
 - ・ 食事をしない半日企画
 - ・ 野外活動のみを想定
 - ・ 実施時期は12～1月を想定
- ※実施の上ではまず実施基準の作成が必須のため、来月以降作成に取り掛かる

《各員より出た意見》

委員	実施する/しない	回数	実施時期	内容
A委員	しない	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が再開し、まずは子どもたちの学習環境が整うことを優先すべき ・ 新型コロナ感染者が増加している現状を踏まえ、慎重な対応を取るべき ・ 今年度の参加者が少なくとも、育成塾実施時に距離を十分に確保することは難しいのではないかと ・ もしどうしても実施するのであれば、参加者へ1週間前から検温等の健康調査を行い、そのうえで参加させる等の対応が必要 ・ 今年度は今後の育成塾の運営方針を含め、十分な検討期間としたりいかかがか
B委員	しない	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用する会場にて使用人数の制限がかかるため、実施場所の確保が難しい ・ 育成塾のメインとなるグループ活動自体が現状を考えると難しい ・ 使用する物品や施設の消毒対応が負担になる ・ 育成塾を実施したことにより、感染者ひいてはクラスターを発生させるわけにはいかない ・ 今年度はガイドライン等の作成を重点的に行うべき
C委員	する	2回程度	11月以降（夏季×）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施は野外での活動のみ ・ 室内での活動は「密」を回避できないため行わない ・ 室内でのプログラム実施には制約が多く、現実的でない（手を繋げない、歌を歌えない等） ・ 熱中症等の危険性を加味し、マスクをせずに実施をすることが出来る涼しい時期の実施がよいのではないかと
D委員	する	3～4回	10～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外活動に限定し、室内での活動は行わない ・ 現状の6班編成ではなく、2班編成や4班編成といった構成人数の再編を検討すべき

委員	実施 する/しない	回数	実施時期	内容
E 委員	しない	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・育成塾としての活動は実施しない ・1～2回のリーダー研修を実施する
F 委員	する	3回程度	10月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が再開したことを踏まえ、子どもたちに体験活動の場所は必要 ・活動は野外活動のみに限定 ・参加者が密に接触しないよう、委員がコントロールすることを前提に、マスクを着用しないでの活動を企画
G 委員	する	2～3回	10月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・実施するにあたって、まずは保護者が納得して子どもたちを参加させられるだけの実施基準を確立することが必要 ・年次計画で検討していたプログラムは白紙に戻し、再検討する ・活動は野外のみとする ・条件に応じてマスクの着用については柔軟な対応をとる
H 委員	する	1回	夏季以降	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく応募してくれた子どもたちに何かしてあげたい ・感染リスクを考慮すると、食事はさせない活動がベター ・野外活動のみに限定
I 委員	する	少ない回	涼しい時期	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は野外のみに限定 ・年次計画の「農業体験」や「市内散策」は再度プログラム内容の見直しをしたうえで実施可能ではないか ・実施回数を少なくすることで、荒天時の予備日を設定する ・次年度に向けた企画の検討を重点的に行う
J 委員	する	4回	9月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動に限定（特に班活動などの大人数での動きは避ける） ・屋内で実施をする場合は、十分な距離確保を行う ・短時間、半日に限定した実施 ・実施にあたっては、マスクの着用、手洗い・消毒の徹底等基準を設ける
K 委員	する	2回程度	11～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・9月実施で検討をしていた「防災体験」については、時期的に熱中症の危険性があることや室内プログラムであることを考慮し、実施は難しい ・10月以降の内容は実施可能なため、熱中症の危険性がある10月を外した11月以降であれば実施できるのではないか ・プログラム内容は再検討を行なう
L 委員	する	少ない回	涼しい時期	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は野外活動に限定 ・今年度応募してくれた35名の子どもたちに何か体験をさせてあげたい ・今回はあくまでも臨時的な実施とし、次年度の宣伝を加味したプログラムでもよいのではないか ・実施にあたってはガイドラインの作成が前提であり、これが完成しないうちの実施はない ・実施をする方向で検討はしていくが、状況に応じて中止をする選択肢も用意してしかなるべき

委員	実施 する/しない	回数	実施時期	内容
M委員	する	1回程度	冬季	<ul style="list-style-type: none"> ・年次計画のプログラムではなく、新規で企画する ・35名に合わせた企画検討 ・「3密」を回避した企画を試験的に実施してもよいのでは（屋内外） ・昼食は取らない半日での実施
事務局	する	1回	12月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・応募してくれた35名に対し、何かしてあげたい ・単発の企画を検討し、野外に限って実施 ・感染リスクを考慮し、食事をとらない半日企画 ・同一プログラムで複数日実施という案もあるため、同一プログラムで午前・午後に分けた分散実施も検討すべき ・次年度の育成塾の宣伝も含めた思い出作り ・次期リーダーを希望する子たちへの配慮が必要 ・実施基準の作成が大前提であり、荒天時の対応や衛生管理を含め、完成しないまま実施はしない ・状況にもよるが、3月実施の検討もありではないか

【進行：社会教育課 田島】

5. 今後の予定

○令和2年度 多摩地区青少年委員会連絡協議会 役員会・理事会（第1回）

日 時：7月21日（火）

場 所：国分寺ひかりプラザ

出席予定：高橋（真）委員

【進行：社会教育課 谷係長】

6. 事務連絡

以 上